

## 血統表

トランセンド 鹿毛 2006	ワイルドラッシュ 鹿毛 1994	Wild Again	Icecapade	Nearctic	
				Shenanigans	
				Khaled	
				Dama	
				Key to the Mint	
	Rose Park	Plugged Nickle	Toll Booth		
		Hardship	Drone		
			Hard and Fast		
		カンバラ	Kalamoun		
			State Pension		
シネマスコープ 栗毛 1993	トニーピン	Severn Bridge	Hornbeam	Priddy Fair	
				Northern Baby	
				Splendid Girl	
				Hawaii	
				アイアンエイジ	
	ブルーハワイ	サニースワップス		Vice Regent	
				Mint Copy	
				Hold Your Peace	
				Laredo Lass	
				Pago Pago	
シュダйка 芦毛 2014	クロフネ 芦毛 1998	フレンチデビュティ	Mitterrand	Classic Perfection	
				Classic Go Go	
				Classic Perfection	
				Icecapade	
				コレラ	
	ブルーアヴェニュー	Eliza Blue	トニーピン	カンバラ	Severn Bridge
					Nureyev
					Skillful Joy
					Blushing Groom
					Glorious Song
デーマソング 鹿毛 2006	ジャングルポケット	ダンスチャーマー	Rahy	Topsider	
				Gliisk	
ソロリサイトル	Sole				

トニーピン：S3×M4、Icecapade：S4×M5

## 種 牡 馬

### トランセンド

- 2006年生 鹿毛 新冠産
- 競走成績 日UAE24戦10勝  
フェアリーS (G1)、ジャパンCダート (G1) 2回、マイルCS南部杯 (Jpn1) ドバイワールドカップ (G1) 2着
- 種牡馬成績 2013年から供用中  
【主な産駒】メイショウダジン (日本TV盃3着)、トランセンダンス (羽田盃)、ジェミニキング (阪神スプリングジャンプ)、ゴールドホイヤー (京成盃グラドマイラース)



©株式会社ジェイエス

## ブルードメアサイアー

### クロフネ

- 1998年生 芦毛 米国産
- 競走成績 ジャパンCダート (G1)、NHKマイルカップ (G1)、毎日杯 (GIII)、武蔵野S (GIII)
- 主な産駒/母の父として：クロノジェネシス (有馬記念)、ノームコア (ヴィクトリアマイル)、ヴェラアズール (ジャパンC)、レイババレ (大阪杯) /父として：ソダシ (桜花賞)、カレンチャン (スプリンターズS)、ホエールキャプチャ (ヴィクトリアM)、アエロリット (NHKマイルC)、スリープレスナイト (スプリンターズS)

## 個体および検査情報

### ◎悪癖=なし

### ◎ノド内視鏡検査=グレード1

グレード1：左右披裂軟骨の動きに差異はなく、完全な外転が可能で維持されます。

### ◎レントゲン検査

前肢種子骨評価=左 (外0、内0) 右 (外0、内0)

グレード0：骨に異常形成された線状陰影を有さず、輪郭も概ね正常

大腿骨ボーンシスト=左 (所見なし)、右 (所見なし)

右飛節：脛骨中間稜に離断性骨軟骨症 (OCD) がみられます。

※23年7月19日に右飛節のOCD除去手術を行いました。

左飛節：第3足根骨に軽度の骨増生がみられます。

右後球節：外側副管骨に骨折痕がみられます。

### ●獣医師コメント (カワタエクワインプラクティス・浮田悦子獣医師)

右飛節のOCDは、跛行などの症状があれば、要手術検討です。術後の予後は良く、競走能力に大きな影響を及ぼす可能性は低いとされています。左飛節および右後外側副管骨の骨変化は、直ちに治療を要するものではなく、また競走能力に大きな影響を与える可能性は低いと考えられますので、様子見です。

※ノド内視鏡検査、レントゲン検査は6月28日に行いました。

※検査情報は募集開始時点での担当獣医師の見解であり、将来的な健康状態を保証するものではありません。

レントゲン検査で右飛節にOCDが見られましたが、現時点では跛行などの症状はなく必ずしも手術が必要な所見ではありませんでしたが、将来的に影響を及ぼす可能性もあるため、7月19日に右飛節のOCD除去手術を実施致しました。術後のレントゲン画像につきましては準備が出来次第HPに公開致します。術後は1ヶ月程度の舎飼いを行った後に少しずつ運動を開始して行く予定で、順調に回復すれば馴致、育成スケジュールに影響を及ぼさないと考えています。

### ●牧場コメント

当歳の離乳から冬頃までは全く手がかからず、誰でも扱える大人しい馬でした。1歳の春過ぎからは大人しいだけではなく、競走馬になる上で良い意味での気の強い所を見せるようになってきました。馬体はお母さんの体型の遺伝なのか体高はそんなに高くはないですが、牝馬にしては肉付きが非常に良く、しっかりと中身が詰まっている印象です。距離については長い距離というよりは、ホッカイドウ競馬は相手も揃うと思いますが、そこで戦って行けるスピードはあるんじゃないかと期待しています。

(笹島智則牧場・笹島氏)

## POINT

がっしりとした胸前とトモの筋肉が、水準以上のスピードとパワーを生み出す源泉。北の大地から勝利の歌を響かせたい。